

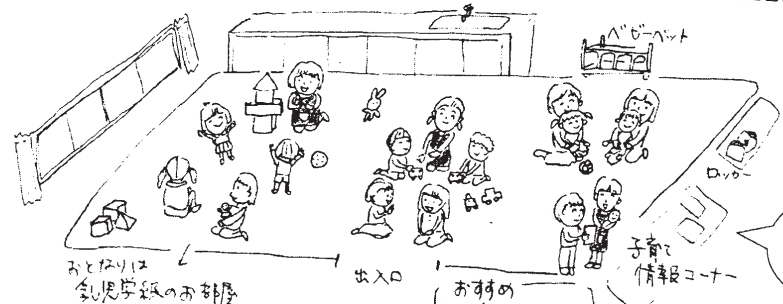
HUGこどもパートナーズの活動紹介・その2

親子サロンを市内6カ所で ひらいています。

「親子サロン」は乳幼児を連れて気軽に遊びに来られる場です。「子育てひろば」などとも言われます。子どもを遊ばせたいパパママ、子育て情報が欲しい方、先輩ママに話を聞いてみたい方……おしいちゃん、おばあちゃん、どなたでも大歓迎！一息ついておしゃべりしていきませんか？

先輩ママスタッフが待ってます！
子育て親子サロンは全て無料です。

お問い合わせ：090-6479-4722 (磯部)



HUGサロン
ほっとのようす

子育て広場 ハトの家
◆毎月第2金曜日 10:00~12:00
◆ハトホーム 1F和室(富士見町2-26-1ハトホーム内)
両主催：子育て広場 きらら
※駐車場はありません。

ほれほれ広場
◆毎週木曜日 10:00~15:00
◆白十字ホーム 1F会議室(諏訪町2-26-1)
主催：ほれほれ広場実行委員会
※駐車場はありません。

ふれあい親子サロン
◆毎月第3金曜日 10:00~14:00
◆久米川ふれあいセンター第2集会所(久米川町3-16-4)
主催：久米川ふれあいセンターコミュニティ推進部
※駐車場はありません。

ほれほれ広場 子育て講座
「叱り方、こんな時どうしたらいいの？」
日時 平成19年2月8日(木)午前10時30分~12時
場所 白十字老人ホーム 1階集会所(東村山市諏訪町)
講師 恵良貝子先生(心理相談員)
主催 ほれほれ広場実行委員会
問い合わせ 090-6479-4722 (磯部)

HUGサロン いこい
◆毎月第4火曜日 10:00~12:00
◆久米川憩の家(久米川町熊野公園そば)
協力：社会福祉協議会
※駐車場はありません。

HUGサロン ほっと
◆毎月第2/4火曜日 10:30~12:30/13:00~15:00
◆いきいきプラザ(市役所奥建物) 2F 健診室
共催：東村山市健康課

HUGサロン ぶらっと
◆毎週月曜日 11:00~14:00
◆いきいきプラザ1Fロビー(ふれあい喫茶いきいき横)
共催：東村山市

HUGこどもパートナーズは、NPO法人になりました

■主な事業内容

- ①親子サロンなどの居場所づくり事業
ぶらっと・ほっとなど親子サロンの開催
コミュニティスペース「よるべ」の運営など
- ②子ども・子育てに関する学習機会の提供事業
カナダの子育て支援プログラムNobody's Perfect開催
講演会・講座の企画、調査など
- ③子ども・子育てに関する情報発信・交流事業
会報紙・よるべカレンダーの発行
「子どものために選挙へ行こう」発行
HPの運営など

■会員(年会費)

- 正会員** 5000円
法人の法人趣旨に賛同し、総会での議決権がある会員
- 賛助会員** 一口3000円
法人の趣旨に賛同し賛助する会員で、総会での議決権はありません。
- 応援会員** 一口1000円
法人の事業やサロンのスタッフならやれるよとか、気持ちは応援するよとか、ちょっとかかわりたいなあとか、知恵はあるから貸すよとか、どんな形でもHUGを応援して下さいの方向け。

- ▶よるべドネーション
コミュニティスペース「よるべ」維持のための寄付。
- ▶その他、寄付・カンパ大歓迎！

おかげさまで、「HUGこどもパートナーズ」は昨年10月にNPO法人の認証を受けることができました。
HUGは、子ども達のこと、まちのことをお願いや要求ばかりではなく、自分たちでできることは自分達でやろうよ！と立ち上げた会。地域に信頼され根付いていきたいと法人化を目指してきました。
これまでの活動をさらに充実させ、居場所づくりを中心に子育てしやすいまちづくりの一端を担えたらと思います。今後ともご支援、よろしくお願い申し上げます。

NPO法人 HUGこどもパートナーズ
代表 磯部 妙

最近の活動報告

東村山近郊の場
レポート オイっ!
児童館
子育てひろばを編む

多岐の場を子育て中のママたちと一緒に作りました。遊び場のようすがよくなりました。市内の図書館・児童館・支援センターまでつらんどまわ。参考にしたい。

コミュニティスペース
よるべ
よるべ(ぐるぐる)＝頼りにするところ

HUGカフェやヘアカット、スリング講習などなど、子育て中のママ達の集いの場です。開催日時は毎月発行のよるべカレンダー、トコトコ通信、HPをご覧ください。

■問い合わせ・申し込み■
090-7849-1861 (平沼)
http://www10.plala.or.jp/ikunet/yorube/

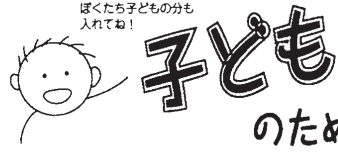
「ログも人気! 遊びに来てね!」

※駐車場についてはお問い合わせください

雑記報 ■今回「報告した通り、東村山駅西口再開発についての住民投票は否決されました。市民の声を受け止めるのが議会の仕事です。本意の意図で市民のことを考えてくれる議会に再編することを考えていきましょう!」

▶12月に市内六ヶ所目の親子サロン「子育て広場 ハトの家」がオープンしました。高齢者施設などのホール内で皆さんに歓迎されながらのんびり過ごしていきませんか?と共催です。ほかの五カ所のサロンも健在。どなたでも遊びに来て下さい。■おかげさまでだいぶ知っていただけるようになったコミュニティスペースよるべ。でも、内容については試行錯誤の連続です。12月からスタートしたランチ会は、外食だと子どもがすぐあきてゆっくりできないという方に好評です。福祉作業所「お弁当くらぶ」のヘルシーなお弁当、おすすすめです。人気のヘアカットは常連さんが多くなりました。美容師Oさんのセンスもさることながら、カットを嫌がる子どもに対しての粘り強い対応も喜ばれています。よるべの施設者や講師の講師は利用して下さる皆さんと同じ子育て中の母親、同じ立場になった対応が好評の理由です。もちろん、子育て中の子どもでもない方も利用可能です。2月から小学生まで2親のおしゃべりカフェがスタートしています。子どもや学校がこたえにくい、こたえなかなにか話相手も場もないものです。さくばらんに語り合いました。■よるべをシテシテしてくる団体も募集中です。夕方や夜など空いている時間になにかやってみませんか? ■子育て支援だけでなく、まちづくりの視点で活動したいと発行している方も募集中。次号は3月の予定。もちろん選挙特集です。難しいこと、なんでも言わずにおつきあいくださいませ。お楽しみに。

私たち、「親」の一票は、
選挙権を持たない子どもの分も含めた大事な一票!

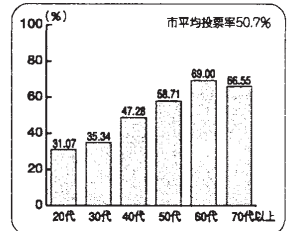


子ども のために選挙へ行こう!!

子育てのこと、経済のこと、税金のこと……

私たちにとって「いいまち」って?

市はどんなまちを目指しているのかな?



平成17年7月3日東京都議会議員選挙
「選挙の記録」投票率調査票(1投票区抽出)より
第9投票区(昭和多4・5丁目)

「そんなに税金を投入するの?」「計画の中身がおかしい」など、様々な理由で疑問視された**東村山駅西口再開発問題**。「市民の声を聞いてほしい」と「住民投票条例」の制定を求めて、たった1カ月で1万7千もの署名が集まりました。

しかし、12月の議会審議では、賛成12・反対12の同数で議長裁決となり、惜しくも否決され、住民投票は実施できなくなってしまいました。同数だったことは、非常に悔しいことであると同時にそこまでのことは市民の力であったとも思えます。

このような結果となってしまった以上、4月の選挙で、本当に私たちの声を代弁してくれる議員や市長を選ぶしかありません。4年に一度の大きなチャンスです。選挙時だけの美辞麗句にだまされることなく、子ども達やまちのことを真剣に考えてくれる政治家を選ぶ目を持ちたいものです。**60歳以上の層では、7割近い人が選挙に行きますが、20歳、30歳代では、約3割です。これらの若い層の人が選挙に行くことで、世の中を変えることができるかもしれません!** せっかくの権利を無駄にしないで! あきらめないで! まちが、国が良くならなければ、一人ひとりとは幸せになれません。一人ひとりがその一票に思いを込めたら、きっとまちも国も住みよくなるはず! **選挙権を持たない子どものために、自分のために、まちのために選挙に行きましょう。**

いつも行くところは思っているけれど、別の用事が入ったりすると「ま、いっか」と行かないことも。だけど、入れたい人がいるときは行く率が高くなります。(Sさん)

仕事をしている時は地元のことなど興味なかったし、候補者の主張を知る暇もなかった。けれど、子どもが生まれたら市に注文したいことが出てきた。次からは行こうと思ってる。(Kさん)

いままで一度も行ったことありません。私ひとりか投票してどうかなるものでもないと思うから。政治家に期待することもないので。(Cさん)

選挙は必ず行きます。でも、入れた人がいつも当選しなくて残念。土日は子連れはでかけてしまうことが多いので、不在者投票がもっと気軽にできたらいいな。駅とかスーパーとかはどうでしょう?(Tさん)

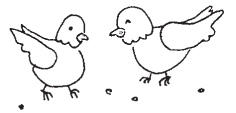
選挙は行かないと思っただけで、前はよくわからなくて適当に名前書いてきちゃったことありました。もっと真剣に考えて投票しなくちゃと思ってます。(Hさん)

選挙は行かないと思っただけで、前はよくわからなくて適当に名前書いてきちゃったことありました。もっと真剣に考えて投票しなくちゃと思ってます。(Hさん)

わたしの選挙体験!

行かないじゃないの? だってすぐちょよつとするだけでしょ。(T君・9歳)

独身の時は母親に聞いて同じ名前を書いていた。子どもができてやっと施策を気にするようになった。ずっと前、選挙権は男にしかなかった。それを先輩の女性たちが活動して権利を得たのだから「行かないじゃない」と思っている。(Mさん)



「東村山駅西口再開発」に伴う旧カクリポウル解体工事のアスベスト除却工事を追って 野口優子

「東村山駅西口再開発は皆さん自身の問題ではありません。自分の子どもたち、孫たちの問題。40年後の世界をどう残せるかという問題と、非常に密着している」。

12月8日、アスベストの学習会にお迎えした講師の中原 隆・じん肺・アスベストセンターの永倉史宏さん(以下「永倉さん」)はこう話す。

「アスベストは、髪の毛の1000分の1という非常に細かい鉱物ですが、いったん体内に吸い込まれたら、肺がん、じん肺、アスベスト病の原因になります。現在、アスベストが原因の肺がんの病気が、治すことができません。発病すれば死に至る、本当に怖い物質です」。

「これが、旧カクリポウルでは防音のために用いられていました。最も毒性の強い「ペル」(クロソライト)(青石綿)が、43%の濃度で8000㎡に厚さ2〜3cm、大層に吹き付けられていたというのでした。解体工事の途中で飛散してしまうと、空気を吸ってしまいます。その空気を吸

えば体内に取り込んでしまうこととなります。それゆえ、11月18日の西口再開発組合(以下「組合」)主催の説明会以後、工事内容に不安を覚えた市民が着工前に話し合いの場を設けていただけのよう市と組合にお願ひしてきましたが、実現しないまま工事は始まりました。でも、不安を残したまま何もしていないではいられない! 工事が始まってからでも話し合う場をもっとほしいと、市と組合に直接言に行きました。今までも思いましたがそれでも二点ほど進展があったかと思えます。

一つ目は、組合及び除却業者が、アスベストセンターの永倉さんや呼んで指導を受けたいこと(工事の質は少なからず上がったかと思えます)。

二つ目は、組合と業者と長倉さんと私で、1月5日に話し合いの場を見ていただく(工事の全体像が見えてきたこと)環境測定のデータを公表してもらえらるよう約束されたこと。

三つ目は、市が学習会を開いたことです(永倉さんのおかげです)。ありがとうございました」。

そして07年1月17日、アスベスト除却工事は終了し、30

日には工事の間ためておいたアスベストの撤出作業予定です。期間中の環境測定データの最高値は負付集じん器排気口前1.5m/1Lでした。都の環境事務所は10本を超えたと危険だと判断するそうですが、1本以上の数値が出たら工事を止めて原因を調べるといっ協定書(こんな協定書もあはる地域になりました)。

現在全国的に、アスベストが使われた年代の建築物が老朽化で取り壊しの時期にきています。100%完全な工事法というのはありません。様々な問題を行って、住民、業者等が共に話し合いながら進めることによりリスクを減らしていかなくてはなりません。お近くで工事があったら(近所では何かと難しいこと)もあろうかと思いますが、事実を調べ、できるだけ安全な工事になるように声をあげましょう。その声があるとなんかでは工事の質が変わるはずなのです。

40年後の私たちの子どもをどう考え、せめて、実行してもらいたいと思っています。私にできることがあったらお手伝いします。

ま・ち・こ・ら・む・2 わたしたちの住むまちへ...

「再開発」という夢のあと...

秋津町 岩田 妙

私は、長野県との境にある小さな田舎まちです。子どもの頃、私の家は駅前であり、隣は肉屋とお茶屋、むかえは旅館、通勤時には、国鉄と北恵那鉄道の駅を行きかう人で道はいっぱいだったことを子ども心に覚えていました。小学五年生の時、駅前が再開発されることになり、我が家は駅から遠く離れた山の中腹の家に引越しました。その再開発で、駅前にはロータリーができ、周辺の建物はレンガ調に統一され、大型の大手スーパーのビルもできた。

今現在、または市町村合併し、人口こそ増えましたが、昔のようになにげわいはまったくありません。整然とした駅前はそのままで、大手スーパーはつぶれ、その建物はしばらく幽霊ビル状態でした。今は、市の所有物らしいですが、ビルは幕で覆われています。旧中山道の宿場

町も、駅前の商店街も個人商店はほとんど消え、大型駐車場を完備した郊外型店には人が集まっています。道路も広くなりましたが、帰省するたびにぎわいなくなっていくように寂しい気持ちです。せっかくお金をかけてきれいに整備されてもまちが息づいていなければ、意味がない……。かつて子どもであった私は、ふるさとに対する愛着とノスタルジックな気分での風景を見つめるだけです。

東村山があることになる子ども達にどんなまちを残せるのか私たちが大人の責任は大きいと思います。昨年は西口再開発の住民投票をめぐって、まちが大きく揺れました。ビルが必要なのか、税金の使い道が適切か等の疑問の前に、計画が決定されるプロセスと情報開示のあり方、議会の役割は何なのかという大前提の問題を痛感しました。

もう、行政や議会に任せずには済まされない時代がきています。夕張市を見ればわかるように、そのつけは間違いない住民一人ひとりにかえってくるので

